

REI MEI

一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌

一般社団法人 日本 PV プランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

ホームページバナー「重要情報ピックアップ」 リニューアルのお知らせ

ホームページバナー「重要情報ピックアップ」を大きくリニューアルいたしました。項目ごとに整理し活用しやすくしております。

今後も「重要情報」をアップデートしてまいります。



事務局だより

小学校の時に週刊少年ジャンプが創刊された。当時は90円だった気がする。マジンガーZ、デビルマン(漫画はかなりえぐい)…明日のジョー、巨人の星、サイボーグ009、仮面ライダーなど今やアニメ化されたものの原典をリアルに見ていた世代だ。当時でも古めかしい本屋めぐり、漫画を探し求めている。中学担任の影響でSFを読むようになり、H・G・ウエルズ、アイザック・アシモフ、E・E・スミス、フレドリック・ブラウンなど端から読んでいた。読み返そうとしたら文字がめっちゃ小さい(笑)。そこから日本文学や武者小路実篤なども読んでいた。本を読むことで言葉使いや語彙を覚え、漢字も覚えた(書くのは苦手)。そして今やコミックは世界的にも認知され日本の文化になっているのは嬉しい限りだ。

最近はSNSで情報が手に入りネットで購入が可能だが…やはり本屋めぐりは止められない。意外な本を見つけた時の喜びがあるからだと思う。今はコミックの異世界物語にはまっている(笑)。これからもページをめくるたびにわくわくしていきたい! (大槻)



お問い合わせは…

黎明 Vol.37 2024新春号 Contents

特集
第12回全国会員大会

- 新理事長・元理事長挨拶
- 理事・監事・他 紹介
- エリアマネージャー抱負を語る



一般社団法人 日本 PV プランナー協会

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町3丁目2番13号
秋和ビル202号室
TEL: 03-6256-9970 / FAX: 03-6256-9971
Web: <https://pv-planner.or.jp>
Mail: support@pv-planner.or.jp

制作・編集: (株)電設出版

「第12回全国会員大会」 「情報交換」開催

2024年11月22日、「第12回全国会員大会」が東京・渋谷のシダックスカルチャーホールで開催されました。「情報交換会」は渋谷エクセルホテル東急で行われ、協会員のみなさまをはじめ多くの関係者の方々にご出席いただき大盛況となりました。

理事長挨拶

一般社団法人日本 PV プランナー協会
理事長 森上寿生



理事長を拝命いただきました森上です。2011年から賛助会員として参加させていただいております。FITが終わり、一時期当協会の会員数が減少しましたが、カーボンニュートラルが法律で定められ、太陽光発電がCO₂や電気代の削減に資することになったため、再び今会員数は増加傾向となっております。ソーラーシェアリング、自家消費のための太陽光発電、蓄電池の併設など、ニーズの多様化から新たな設計、工事技術、営業提案、O&Mが必要になっているということが背景になっています。

また、これにとどまらず、当協会といたしましては、ペロブスカイト太陽光モジュールに関する設置技術、FITからFIPに転換して蓄電池を併設する、もしくは系統に直接連系する蓄電池を建設する、EVに再エネ由来の充電を行う設備など、新しいニーズに対応していきます。太陽光発電業界の長期的で健全な発展が脱炭素社会に貢献できると考えております。

施策方針発表

一般社団法人日本 PV プランナー協会
専務理事 馬上文司



当協会の取組みについてご説明差し上げたいと思います。当協会設立当初から脱炭素社会の実現に向け太陽光発電を通じてできることを考え、施策としてきました。

今年2024事業年度は分科会を設立致します。会員の皆様に知識を身につけていただく、お仕事に役立てていただきたいということはもちろん、大きく脱炭素社会への貢献という中で太陽光発電が求められる役割が非常に大きくなってきており、それを当協会がどのように広げていくかと考える中の一つの施策です。

運営メンバー（理事・エリアマネージャー+協力会員+協力企業）による以下4つの分科会です。

- ①PVサイト運営管理分科会
- ②住宅関連分科会
- ③産業用自家消費分科会
- ④新商材・新商品分科会

分科会で抽出したテーマ別のセミナー内容を各地区会でのリアルセミナーやWEBセミナーに採用して、2025年1月から会員の皆様に提供致します。多様化する太陽光発電のあり方に対応していくために会員の皆様にもぜひご参加いただきたいと思います。

ご来賓挨拶

経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課 課長補佐
遠藤 充氏



太陽光発電は日本の主力電源として導入を加速していかなければなりません。導入は地域との共生が重要で、地域住民の懸念をなくしていく努力が必要です。一方、一部自治体では再エネ導入に抑圧的な条例の制定がなされました。これに対しては事業規律を強めております。また、発電設備設置後の太陽光パネルなどの適正な廃棄・リサイクルも正しく行われるよう制度を作っております。再エネの長期安定電源としての運用を見据えて、適格事業者認定制度も検討しております。ペロブスカイトなどの新しい技術にも注目しております。

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐
福田朋也氏



日本のCO₂削減政策は現在のところ順調に進んでいると考えます。しかし、まだまだ努力は欠かせません。太陽光発電の導入はCO₂削減政策の軸になっていくと思います。

環境省が注力している3点をご紹介します。一つ目は地域主導、地域共生という形で再エネをしっかり入れていくということです。これは貴協会会員様が培ってきたノウハウや技術が生きてくると思います。もう一つが、公共部門が率先して太陽光発電を導入していくことによって、民間企業が動く下地を作っていくということです。3つめが自家消費型太陽光発電の積極的な導入です。今後とも会員皆様のご協力をぜひよろしくお願い致します。

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 再生可能エネルギー室 室長
栗田徹氏



営農型太陽光発電が普及してきており、現在1200ヘクタールの導入がなされています。しかしながら、残念なことにこの中で営農が適切にされていない事例が見受けられます。これに対しては厳格に対応しており、4月に許可基準等を定めた農地法施行規則の改正、8月にはFITの一時停止措置を行いました。このような厳格な措置が世間の太陽光発電への理解の促進につながると思っています。また、不適切事例を排除することが適正な発電事業の普及を後押しすることにつながります。地域ぐるみで話し合いを行って促進される地域共生型太陽光発電をバックアップしてまいります。

基調講演 II

『地方自治体が進める地域脱炭素化に参画する民間企業の取組について』

AiNERGY 株式会社 代表取締役
折笠哲也氏（東北エリア会員）



雪国での太陽光発電は採算が取れない、といわれていましたが、弊社では実証実験を積み重ね、雪国ならではの太陽光発電のノウハウを獲得、これにより信頼が生まれ、現在福島県と近県に400件を超える太陽光発電所を建設しました。また、自家消費型太陽光に必要な高度な設計力も持っています。

東日本大震災とそれにとまなう原発事故の発生に際し、福島復興と原発に依存しない持続可能な社会実現には再生可能エネルギーの普及が必須と考えました。発電所開発はAiNERGY、発電は会津電力、電力小売は会津エナジーと開発から小売まで一貫体制を構築しました。

太陽光発電からはじまり、水力発電、風力発電も実現しました。実現できた最大の理由は「地域のために」という想いがあったからです。これに対し、自治体、金融機関、専門家、地域の方々などの共感と協力を得て実現できたと考えています。

全国会員大会 集合写真

基調講演 III

『エネルギーの分散化が拓く地域の未来』

東京電力パワーグリッド株式会社
取締役副社長 岡本浩氏



電力会社では、需要者側の電力消費にあわせて電力生産をしていて、主に火力と揚水で調整しています。脱炭素化の流れから原子力、水力、太陽光発電、風力発電をベースにすると、この調整が難しくなってきます。そのため、電力生産に合わせて需要者が使うという形態になっていくと考えます。これは一見需要者側が不便になると思えるかもしれませんが、実はそうでもありません。電力会社側は価格の情報やCO₂の情報を世の中に出して、それに基づいて需要者が行動を変えていただく形態になります。ヒートポンプやEV、バッテリーなど、フレキシブルな使い方ができ、AIでエネルギーマネジメントを自動制御する世の中です。

お客様が便利、地産地消、広域ネットワークの実現という3階層を想定しています。部分最適と全体最適は一致します。地域のエネルギーが地域の未来を拓くと考えています。

基調講演 I

『千葉市が目指す、脱炭素とレジリエンス向上の同時実現～自然災害対策を地域の課題とする地域脱炭素先行事例』

千葉市環境局環境保全部脱炭素推進課
事業調整担当 課長 石井秀岳氏



千葉市は2019年（R1）の台風により大きな被害を受けました。この経験を元に災害に強い都市作りを始めました。5つのプランの中から「電力の強靱化」についてご紹介します。

避難所となる公民館や市立学校に太陽光発電設備と蓄電池を整備しました。平時は電力会社と太陽光発電からの電力を使い、蓄電池に貯めます。災害時に電力会社からの供給がストップしても電気の使用が可能となりました。設備はPPA方式で導入致しました。屋根などのスペースを事業者に貸し、事業者は無償で太陽光発電設備を設置、発電された電力を需要家が消費し、使用した電気料金を事業者を支払うシステムです。

一方、今できるさまざまな技術を組み合わせ、公共施設やコンビニなどで電力の地産地消や一元管理化をおこないます。平時の再エネの最適利用と災害時のレジリエンス機能のさらなる向上を目指します。

表彰式

2023年度

最優秀会員賞

(株)スマイルあわじ
代表取締役 長尾隆之氏
(近畿・北陸エリア会員)



長尾氏 森上理事長

2024年度 安全スローガン

「作業前の段取り確認 危険予測と安全確認
これで良いのか最終確認」

安全スローガン最優秀賞

(株)グリーンエナジー・
ファシリティーズ
鎌尾洋哉氏 (中国・四国エリア会員)



安全スローガン
最優秀賞
代行：板東氏

協会員専用保険表彰

※(株)インシュアランスサービスと協会共催による表彰
※(株)インシュアランスサービス清水社長、協会森上理事長より授与

太陽光発電所の総合リスク削減貢献賞

未来環境エネルギー計画(株)
吉村長治氏

太陽光発電所の適正な存続貢献賞

株RE-INNOVATIONS
岸田隼人氏

インシュアランスサービス賞

未来環境エネルギー計画(株)
吉村長治氏



森上理事長 岸田社長 吉村氏 清水社長

情報交換会



主催者挨拶：日本PVプランナー協会
森上理事長



司会：青木エリアマネージャー
相和電気工業(株)



会員挨拶：中部エリア会員
松原電機(株) 松原社長



乾杯ご発声：日本太陽エネルギー学会
太和田名誉会長



締めの挨拶：武中専務理事

**2024年10月25日定時代議員総会および理事会にて
理事・監事が承認されましたのでご紹介いたします**

2024年度～2025年度（任期：2024年10月～2026年10月代議員総会終了時まで）

理事長 森上寿生 エナジー・ソリューションズ(株) 代表取締役社長



このたび、前理事長の石丸貴樹の後任として、理事会のご推挙により理事長に就任いたしました。微力ではありますが、全力を挙げて職務に取り組む所存ですので、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当協会は設立当初より太陽光発電の健全な発展のために、PVプランナー・PVシステムインテグレーターの育成に注力し、研修・セミナー・見学会などを実施してまいりました。通常の野立ての太陽光発電所の開発だけでなく、農地に設置するソーラーシェアリングや工場や店舗、カーポートの屋根に自家消費のために太陽光発電設備を設置したり、太陽光の発電電力を効率よく活用するために蓄電池を併設したりと、ニーズが多様化し、新たな設計・工事技術や営業提案、O&Mが必要となっています。

今後は、ペロブスカイト太陽光モジュールの設置に関する技術であるとか、FITの太陽光発電を

FITに転換して蓄電池を併設すること、系統に直接連系する蓄電所の建設、EV車に再生エネルギー由来の充電を行うための設備、スマート保安をベースとした安全で効率の良いO&Mなど、新たなニーズに対して対応を行うことが求められてきます。そのため、今年度から4つの分科会を作り、ニーズに合わせたセミナー・研修会等を企画して、会員の皆様への情報提供や営業・技術の習得を推進してまいります。

また、来年3月には第7次エネルギー基本計画が策定され、2040年までのエネルギーミックスが発表される予定です。太陽光発電の割合がさらに増え、長期にわたる主力電源として、今後も法改正が定期的に行われると認識しております。

当協会は、各省庁とつながりを持ち、その都度ご指導をいただきまして協会内で情報を共有し対応を進めて行くとともに、政策に対する提言も協会でもまとめ、行わせていただければと思います。

太陽光発電業界が長期的に健全に発展していくことが、脱炭素社会の実現に貢献できると考えております。

副理事長（前理事長） 石丸貴樹 (株)イーステージ 専務取締役



このたび、二期務めさせていただきました理事長の職を退任する運びとなりました。理事長就任時にはコロナ禍ということもあり、活動に大きな支障がともなうこととなりましたが、何とか務めさせていただきましたことができました。これは一重に協会員の皆様をはじめ、協会役員、協会スタッフのおかげと心より感謝申し上げます。今後は副理事長として、新たに選出されました森上理事長を支えていく所存でございます。

さて、脱炭素推進国家であるわが国におきまして太陽光発電の推進と拡大は必須事項であることは十分にご承知いただいていることと存じます。火力発電によるCO₂排出量は1kWhあたり約690gとされているのに対し、太陽光発電では

17～48gとされており、その差は1kWhあたり約650gにもなります。

その中で、2025年4月より一部地域（東京都、京都府、川崎市、群馬県、横浜市）で太陽光発電の設置義務化が始まります。

また、経済産業省によりますと2026年には太陽光発電事業者向けの給付制度の見直しがあり、現状の給付金額の3倍程度にし、給付期間を4分の1程度にすることもいわれております。これは投資回収スピードを上げ、金融機関等からの融資を促す狙いがあります。また、太陽光発電と蓄電池での補助金を中心となっていくと思われま。これらのことから2030年ハーフカーボン達成への大きな波がやってきます。まずは、協会といたしましては、新しくそしてより早く情報を提供し、それにとまなう勉強会等を実施して行ければと思います。

専務理事

千葉エコ・エネルギー(株)

代表取締役
馬上 丈司



専務理事

(株)ダイキアアクセス・サステイナブル・パワー
(株)サンエイエコホーム(旧)
取締役
武中 進



名誉会長・理事

(株)林電機商会

代表取締役
林 浩司



常務理事・事務局長

ブランドウ
コーポレーション

代表
大槻 浩之



理事

重機商工(株)

常務取締役
城所 博



理事

未来環境エネルギー
計画(株)

代表取締役
吉村 長治



理事

(株)RE-INNOVATIONS

代表取締役
岸田 隼人



理事

(株)パートナーズ

代表取締役
澤井 仁



監事

(一社)日本太陽エネルギー学会
名誉会長
太陽光発電技術研究組合
専務理事
太和田 善久



監事

(株)戸上電機製作所
マネージャー
吉富 行雄



名誉顧問

(株)タデック

代表取締役
竹内 政隆



エリアマネージャー抱負を語る

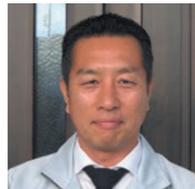
2024年度～2025年度
(任期 2024年9月～2026年8月)



東北エリアマネージャー

ミナト電気(株)(宮城県) 代表取締役 佐々木 俊輔

脱炭素化の2030年・2050年目標達成に向け、協会員の皆様とともに進んでいく重要性を日々感じています。学びや体験を共有しながら、地域とともに持続可能な未来を築くため全力を尽くします。引き続きご支援をお願い申し上げます。



関東エリアマネージャー

(有)アミカブルサービス(茨城県) 代表取締役 高野 浩

再エネ業界に携わる会員の皆様の多様なニーズにお応えできますように4つの分科会ができました。PVサイト運営管理・住宅関連・産業用自家消費・新商材・新商品。こちらの会を通して皆様とともに情報共有し、そして皆様の会社が発展し、入会してよかったと思っただけのよう努めてまいりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



中部エリアマネージャー

G&Eかんぱにい(長野県) 代表 恩田 誠

エリアマネージャーの職も今回で4期目を迎えることとなりました。就任当時、太陽光ビジネスは、ここ数年、いろいろな形に分かれており、それに対応するためのセミナーの企画もなかなか難しくなってきました。そのような中、今年より協会に4つの分科会が発足し、それぞれの分科会の中で現在の情勢に沿ったセミナー企画の立案が可能になりました。セミナーの企画や内容についてのご意見もお待ちしております。



近畿・北陸エリアマネージャー

相和電気工業(株)(大阪府) 営業課 課長 青木 良太

このたびは関西・北陸地区のエリアマネージャーに任命いただき、心より感謝申し上げます。今後、再エネを拡大させるためには「自家消費を中心とした非FITの普及」が重要課題ですが、「稼働中のFIT発電所の健全な運営」も必要になっています。多様化する太陽光のビジネスを通じて、微力ながら脱炭素社会への貢献に取組み、関西・北陸地区・日本全体の再エネ普及に注力して参ります。

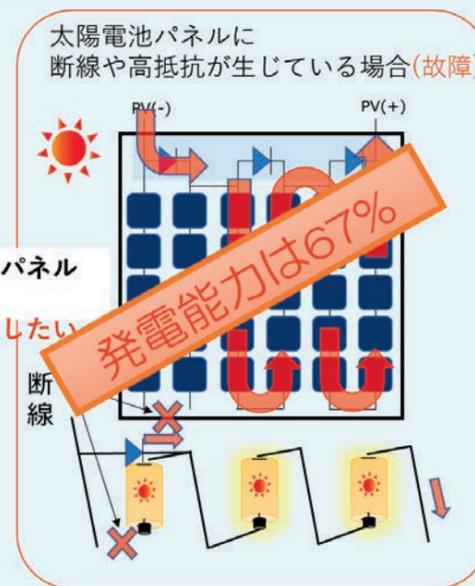


中国・四国エリアマネージャー

(株)エコロステーション(岡山県) 代表取締役 椋木 秀典

再エネが拡大していく中、求められることがとて多くなりました。太陽光に加え、系統用蓄電池、新しい制度等、さらに多様化していきます。これからも、中国・四国エリアの皆様と学び、貢献できるように活動していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

最小限の労力で パネルを 無償交換する方法



Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは ソラメンテ

お問い合わせ TEL. 03-3255-8035
東洋計測器株式会社 FAX. 03-3255-8076

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル
URL: <https://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社 アイテス
〒520-2151 滋賀県大津市栗林町1番60号
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-544-7712
URL: <https://www.solamente.biz/> e-mail: sales02@ites.co.jp

